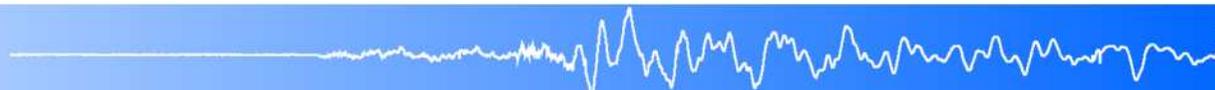


資料 3

緊急地震速報訓練・普及啓発取組状況

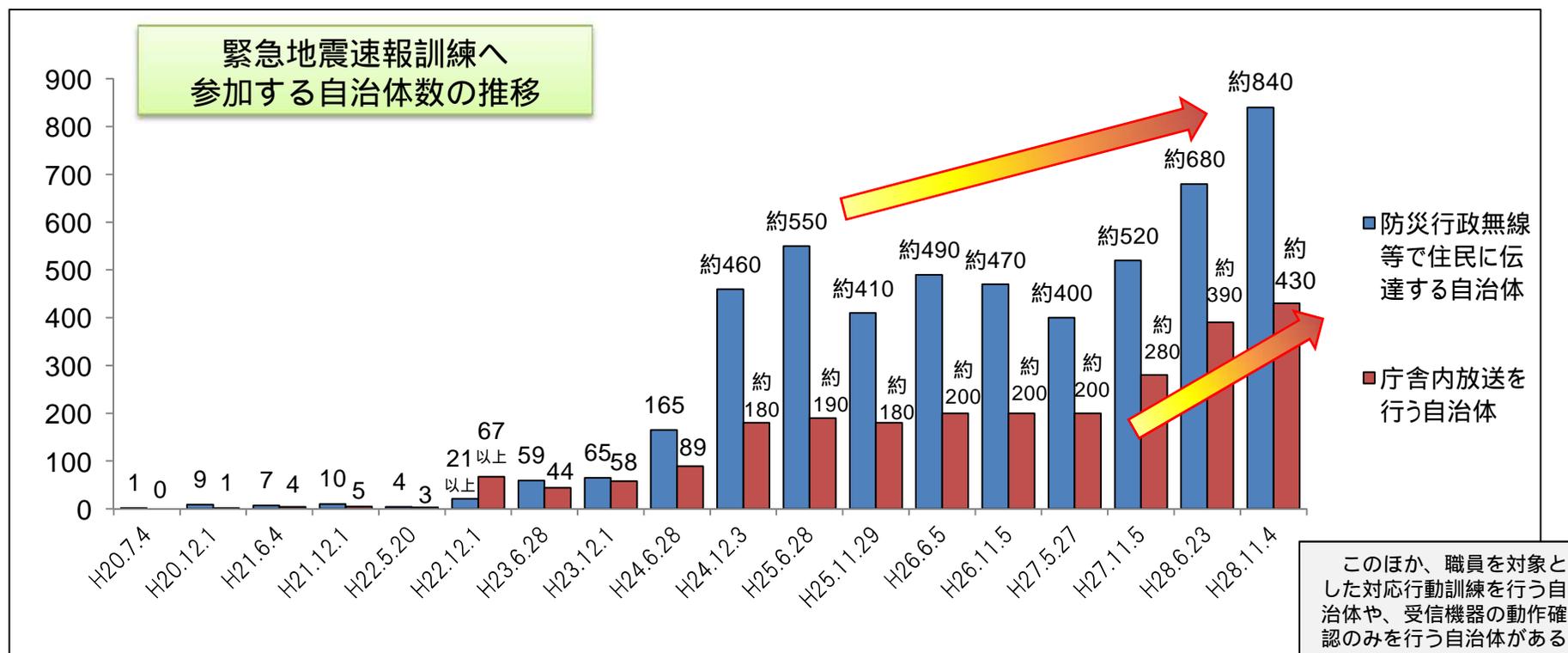


(空 白)

平成28年度緊急地震速報訓練の実施状況

緊急地震速報全国訓練の実施

- 内閣府、消防庁、気象庁で連携して、関係省庁、関連団体等の協力を得ながら、緊急地震速報の全国的な訓練を平成20年7月から毎年度2回の割合で実施。
- 平成26年度以降、総合防災訓練大綱（中央防災会議）に緊急地震速報全国訓練の実施が明示。
- 平成28年度実施日時
 - 平成28年 6月23日（水）主に国の機関・地方自治体を対象
 - 平成28年11月 4日（金）国の機関や地方自治体のほか、民間企業・団体、学校、個人等が幅広く参加
 - 秋の訓練は、津波防災の日における訓練として実施（次頁参照）



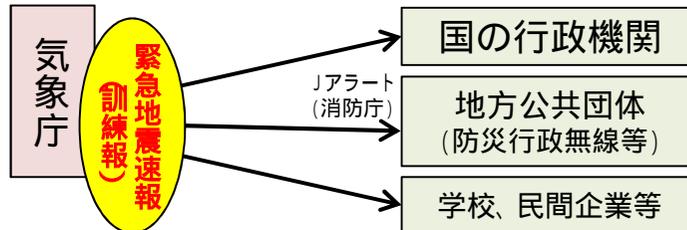
津波防災の日における緊急地震速報訓練(概要)

総合防災訓練大綱に基づき、津波防災の日(11/5)を中心に、国の機関、地方自治体、学校、民間企業等や個人が参加し、緊急地震速報を合図に身の安全を確保する訓練を実施。

平成28年度は、11月4日(金)に実施。訓練により日頃からの地震や津波への備えの重要性を再認識

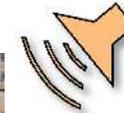
< 概要 >

気象庁から緊急地震速報(訓練報)を配信

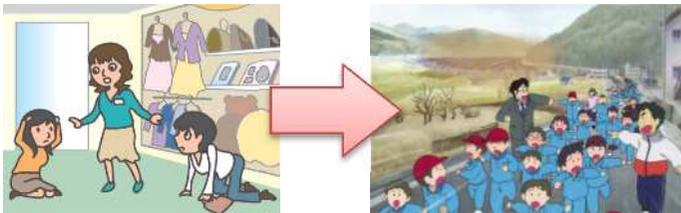


テレビ、ラジオ、携帯電話(緊急速報メール)は対象外

訓練参加者は、緊急地震速報を見聞きして安全確保行動を実践



緊急地震速報から津波避難までの一連の流れの訓練を実施(一部自治体)



スマートフォン用の訓練用アプリを利用して、個人でも訓練を実施可

・アプリ利用実績:H27.11.5訓練 : 654件
H28.11.4訓練 : 1,111件

実際の緊急地震速報ブザー音で訓練を実施できるアプリ(NTTドコモ提供)



平成28年度のトピック

今回から、効果的な防災訓練と防災啓発提国会議と連携し、緊急地震速報の全国訓練の実施日時に合わせたシェイクアウト訓練の実施について広く呼びかけた。

5都道府県(北海道、広島県、香川県、熊本県、宮崎県)、5市町村等が11/4にシェイクアウト訓練を実施。

< 訓練参加団体数 > (訓練事前調査による)

➤ 地方自治体:1,788

うち、行動訓練や情報伝達訓練を実施する自治体:1,326

うち、Jアラートによる住民への情報伝達手段を起動する自治体:837

➤ 中央省庁の組織等:964か所

➤ 民間企業、各種団体等:960か所

緊急地震速報の訓練報を配信する民間事業者:12

津波防災の日における緊急地震速報訓練(アンケート)

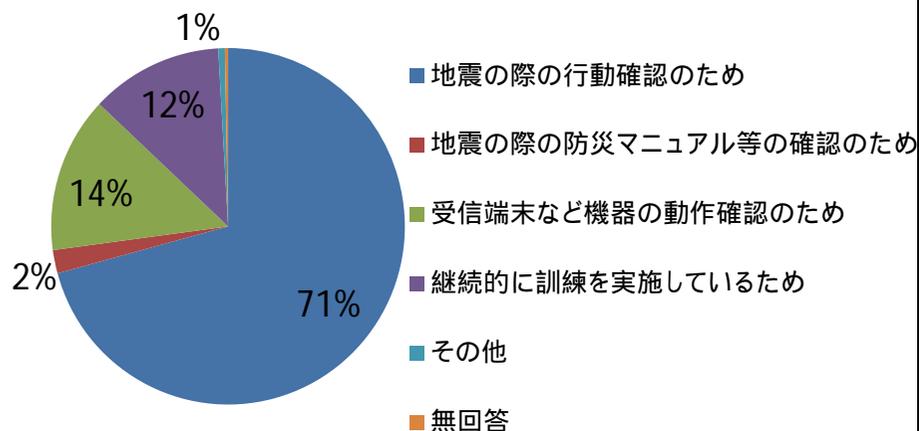
緊急地震速報を利用した訓練に関するアンケート

期間:平成28年11月4日～18日

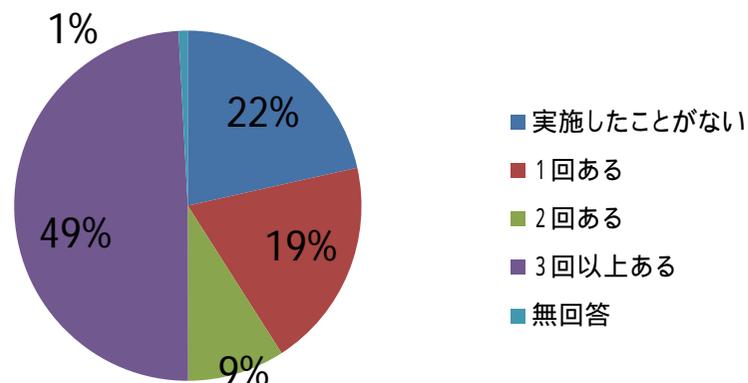
対象:EEW訓練への参加呼びかけ機関全て

手法:Webアンケート(気象庁HP) 有効回答数:1635機関

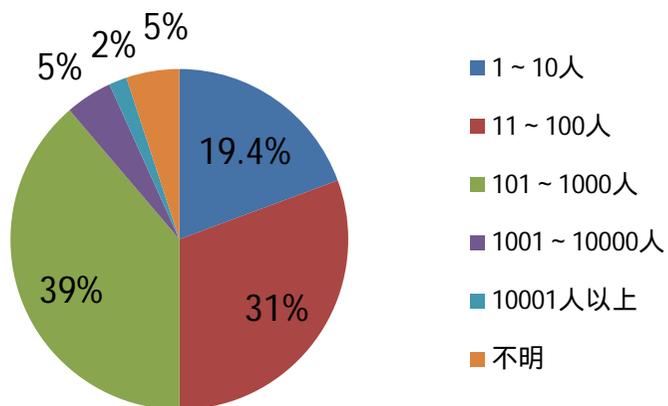
問:訓練を実施した理由を教えてください



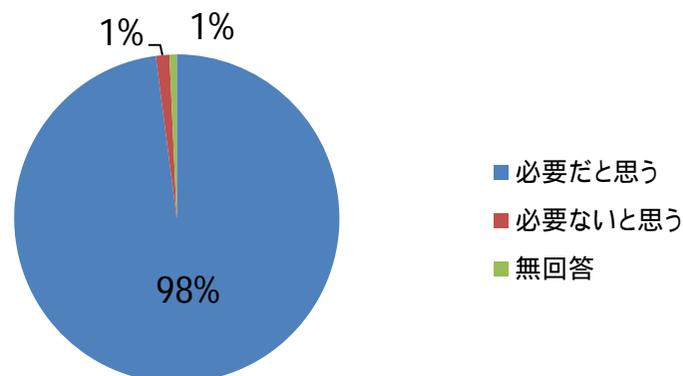
問:これまでに、緊急地震速報の発表を想定した訓練を何回実施したことがありますか(今回の訓練を除いて)



問:訓練に参加された方の人数をお聞きます



問:緊急地震速報の発表を想定した訓練は必要だと思いますか



津波防災の日における緊急地震速報訓練(学校呼びかけ)

気象庁と文部科学省が連携を取って、緊急地震速報訓練への参加を呼びかけ

- ・津波防災の日における緊急地震速報訓練について(依頼)(H28.9.13)
気象庁 → 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
- ・緊急地震速報の訓練の実施等について(依頼)(H28.9.23)
文部科学省 → 各都道府県・政令指定都市教育委員会防災教育主管課

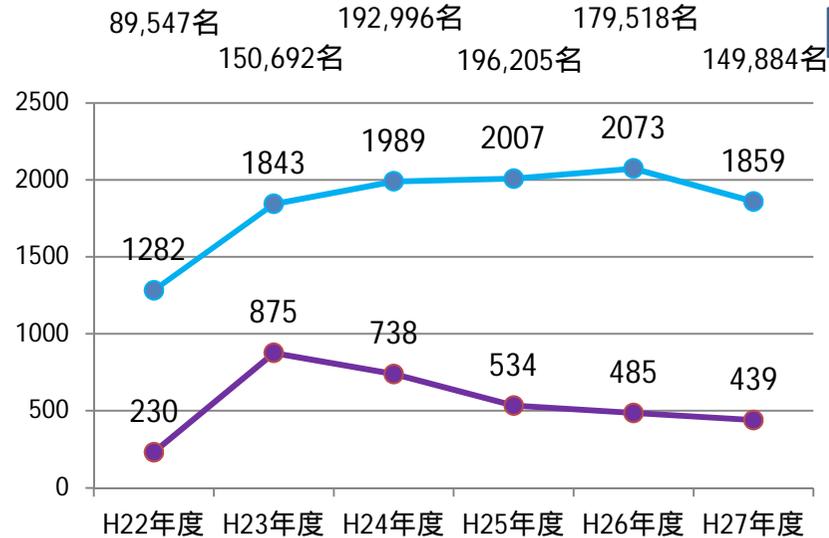
地方気象台からも各都道府県への教育委員会への訓練参加へのお願いを実施

- ・地方気象台等から各都道府県への協力依頼(県によっては市町村の防災部局へ訪問して参加協力をお願いしている)。
- ・県教育委員会から市町村教育委員会への依頼、県下教育現場全体への周知が行われている県もある。
- ・地方気象台の調査によると、例えば、兵庫県では、全体の7割以上の公立学校が訓練に参加し、熊本県では、県主催のシェイクアウト訓練に多数の学校が参加するなど、学校現場で積極的に訓練に参加していただいている。

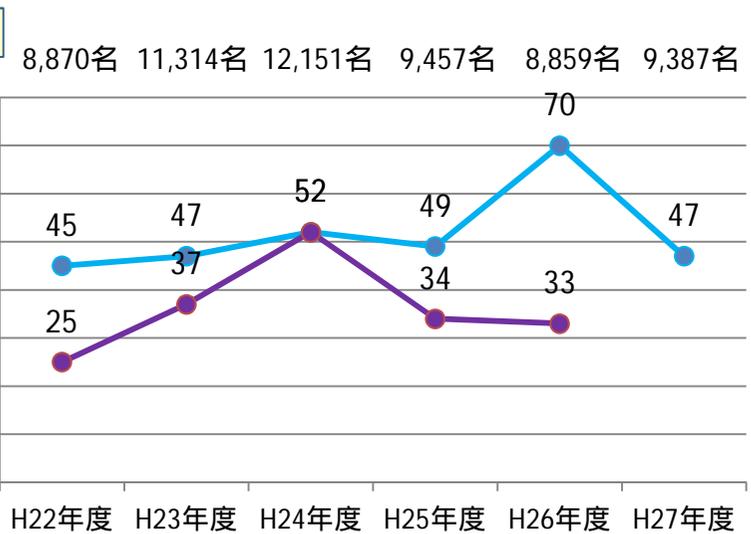
(平成28年11月気象庁調べ)

普及・啓発の取り組み状況

【出前講座・防災講演会の推移】



出前講座
—●— : 全体
—●— : 地震・津波関係、緊急地震速報



防災講演会

【普及・啓発取り組みの連携先】

- ・ 教育委員会、大学、校長会、学校
 緊急地震速報に関する授業の指導展開例の作成、避難訓練用DVD作成、学校防災アドバイザーとして助言、教師の支援、メルマガ配信
- ・ 地元自治体、地方整備局、警察本部
 防災訓練の助言、リーフレット・パネル作成協力
- ・ 地元新聞社・放送局、コミュニティ放送、CATV
 新聞コラム、番組出演、番組制作協力、ブース展示
- ・ 日本赤十字社、防災士会、医師会、消防団体等
 講師派遣、防災フェア実施、防災キャンプ実施



平成28年度の主な実施イベント

「緊急地震速報 防災シンポジウム」の開催(平成28年11月24日)

主催: 気象庁、緊急地震速報利用者協議会、(一財)気象業務支援センター

後援: 内閣府(防災担当)、国民生活産業・消費者団体連合会

内容:

基調講演「熊本地震など過去の震災に学ぶ今後の大震災への備え」

福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長・教授

パネルディスカッション～商業施設等における地震対策と緊急地震速報の活用～

パネリスト: 国崎 信江 危機管理教育研究所 危機管理アドバイザー

佐藤 昌人 高島屋 総務本部 法務・リスクマネジメント室

リスクマネジメント担当部長

福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長・教授

橋本 勲 気象庁地震火山部管理課地震津波防災対策室長

コーディネーター: 中川 和之 時事通信社 解説委員



舞台全景 (パネルディスカッション)

緊急地震速報 防災シンポジウム

大地震発生!
商業施設の安全・安心のために

もしものとき、商業施設においてお客様をどう守るか、そのための対策は?
これまでの実例や実感を基に、経営者や従業員、利用者、情報発表機関等それぞれの立場と視点から見た対策と課題を共有し、大震災に備えるための防災シンポジウム。

日時 平成28年 11月24日(木) 14:00～16:30
(開場13:30)

会場 一橋大学一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

主催 気象庁、緊急地震速報利用者協議会、(一財)気象業務支援センター

後援 内閣府(防災担当)、国民生活産業・消費者団体連合会(生団連)

プログラム

14:00 開演・開会挨拶

14:10 基調講演 熊本地震など過去の震災に学ぶ今後の大震災への備え
福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長・教授

15:15 パネルディスカッション
～商業施設等における地震対策と緊急地震速報の活用～

パネリスト 国崎 信江 危機管理教育研究所 危機管理アドバイザー
佐藤 昌人 高島屋 総務本部 法務・リスクマネジメント室
福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長・教授
橋本 勲 気象庁地震火山部管理課地震津波防災対策室長

コーディネーター 中川 和之 時事通信社 解説委員

申し込み 事前申し込みが必要です。詳細は裏面をご覧ください。

お問い合わせ 気象庁地震火山部管理課防災対策室 電話:03-3212-8311(内線660)

高知地方気象台 高知県版 緊急地震速報対応行動事例集

自主防災組織を対象とした緊急地震速報アンケートにおいて、「緊急地震速報を見聞きした際に、子供も分かる高知県ならではの具体的な行動を教えてほしい」と要望される。主婦、高齢者、大学生等の協力を得て、高知県の生活環境等を踏まえた対応行動をまとめ、主な行動を冊子にして県内各方面や出前講演（62講演約5200名）で配付。気象台HPでも公表。

■ 高知県版対応行動事例集

- その時、できることがあるぜよ。 -

強い揺れから身を守るために
緊急地震速報を見聞きしたら
高知県版対応行動事例集
その時、できることがあるぜよ。
高知地方気象台

緊急地震速報ってなに？
緊急地震速報をつこうて、強い揺れに備えるぜよ！
緊急地震速報のしくみ
どんな時に発表されるの？
最大震度5弱以上を予想した時に、震度4以上を予想した地域に発表されます。
地震計
気象庁
テレビやラジオ、携帯電話、防災行政無線
地震発生
緊急地震速報を聞いたら？
強い揺れが来るまで数秒から数十秒しかありません。
揺れに備えて対応しよう！
事前の備えや対応行動を一緒に確認するぜよ。
対応行動(基本)(さばる！編)
基本行動は大車ぜよ。ポイントはしっかりと覚えちよきよ！
ポイント！
ポイント1 大声で知らせよう
ポイント2 直ちに行動しよう
ポイント3 乳幼児や高齢者、障害者を介助しよう
あわてず安全な場所へ避難
室内安全
あわてず安全な場所へ避難
扉と肘を床につけて体を丸くし、姿勢を低くして身を守る。
避難できないときは 家族といっしょに
避難できないときは 家族といっしょに
バッグ、本、クッション、座布団などで頭や体を守る。

保育園において緊急地震速報を見聞した際の 保育士の対応行動

保育園においては、園児自らが強い揺れから身を守り、揺れがおさまったあと津波から避難するという行動をとることは極めて困難。保育士の適切な指示と行動が園児の命を守る。

地元保育園と連携し、保育園での生活場面に応じた保育士の対応行動を作成・公表。全国保育協議会会報で紹介。

県教育委員会幼保支援課主催の県内保育士を対象とした「南海トラフ地震対策研修会」（県内3地区4会場350名）において行動を紹介。

■ 保育園版 - その時、できることがあるぜよ。 -

保育園において緊急地震速報を見聞した際の保育士の対応行動
— 高知愛児園における対応行動 —

平成28年12月16日

高知地方気象台・高知愛児園

保育園版
その時、できることがあるぜよ。



0歳、1歳児用 園外保育の場合

【緊急地震速報を見聞きしたら】

- 1 車など周囲の状況に注意しつつ、散歩車（避難車）を近くの駐車場や広場、グラウンド等の安全な場所に移動させる。
- 2 散歩車（避難車）の中で腰を下ろすよう促すとともに、ブレーキをかけ、動かないようしっかり固定する。
- 3 園児にレジャーシート等を被せ、散歩車（避難車）をしっかり押さえる。

【備考】

地震時の携帯電話の通信不通等に備えて
トランシーバー、防災頭巾（子供用+職員用）、
レジャーシート等を必ず携帯する。



No.287

3
2017
MARCH

ぜんほきょう

NURSERY <http://www.zenhokyo.gr.jp>

特集 東日本大震災から6年
～災害の記憶を風化させないために～

保育ネットワーク 社会福祉法人和光会 高知愛児園 園長 家次 まり
保護者会がつなぐ地域ぐるみの子育て

国の動き 公立保育所・認定こども園の動き
福祉施設長官の視察 社会福祉法人和光会 高知愛児園 園長 家次 まり
高知地方気象台の事業 高知地方気象台 高知地方気象台 高知地方気象台

子どもたちの命を守る「保育士の対応行動事例集」
～高知地方気象台との連携～
社会福祉法人和光会 高知愛児園 園長 家次 まり
民間保育所9所：人口334,946人（平成29年1月1日現在）
公立保育所24園、私立保育所63園、私立認定こども園19園（幼保連携型2園、保育所型5園、幼保連携型10園、地方児童館2園）

経験を活かして安全のために
自然災害への備え